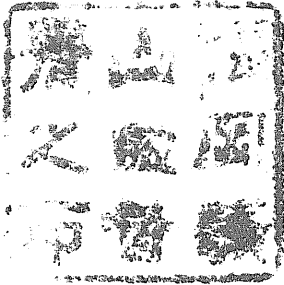


明治四十三年本邦鑛業ノ趨勢



明治四十三年三月三十日
購入

凡 例

一本書ハ主トシテ本邦内地ノ明治四十三年中ニ於ケル鑛業ニ關シ其概況ヲ輯録シタルモノニ係ル但シ鑛産ニ關シテハ參考ニ便ナラシムル爲メ特ニ臺灣朝鮮及外國（外國鑛産ニ付テハ）ノ產出概況ヲ載録セリ

一編纂時期ノ關係上統計材料中精確ナル調査ヲ遂クル能ハサルモノニ付テハ便宜四十二年ノ事實ニ止メ又ハ推定數ニ據リタリ

一明治四十二年本邦鑛業ノ趨勢ニ掲ケタル同年及其以前ニ係ル統計ニシテ本書ト對比シ差異アルモノハ本書ニ掲クルモノヲ以テ正トス

一輸出入ニ關スル事項ハ大藏省關稅局臺灣及朝鮮ノ鑛産ニ關シテハ夫々各總督府ノ調査ニ基キ外國鑛産ニ付テハ一九〇九年「ミネラルインダストリ」ニ據リタリ

一放資額ニ關スル事項ハ官報廣告ニ基キ調査セリ

明治四十四年二月

明治四十三年本邦鑛業ノ趨勢目次

總說

第一章	鑛業ノ出願	一
-----	-------	---

第二章	鑛區	一九
-----	----	----

第三章	鑛產	四五
-----	----	----

第四章	鑛產物ノ輸出入	八五
-----	---------	----

第五章	鑛業ニ對スル放資	一二
-----	----------	----

第六章	鑛產物ノ市價	二七
-----	--------	----

第七章	鑛山事業ノ概況	四五
-----	---------	----

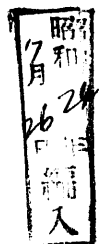
第八章	鑛山變災	二五
-----	------	----

明治四十三年本邦鑛業ノ趨勢

總說

明治四十三年中ニ於ケル本邦鑛業ノ狀勢ヲ觀ルニ曩ニ企業熱ノ勃興ニ伴ヒ湧然トシテ奮起セシ鑛業界往時ノ壯觀ニ比スレハ固ヨリ言フニ足ラサルモ爾來久シク經濟界不振ノ影響ヲ受ケ沈滯ノ狀ヲ呈セシモ今ヤ漸ク其域ヲ脱シ稍々順調ニ向ハントスルニ似タリ之ヲ出願ニ付テ見ルニ試掘、採掘及砂鑛ノ總出願件數ハ前年ニ比シ約三分ヲ増加セリ内試掘ニ付テハ石油ニ於テ特ニ出願ノ増加著シキモノアリ爲ニ前年ニ比シ四分ノ増加ヲ示シ砂鑛ニ付テハ約五分ヲ増加セルモ採掘ニ至テハ銀銅ニ關スル出願稍々減少セルカ爲メ二割五分ノ減少ヲ見ルニ至レリ明治四十三年末ニ於ケル試掘鑛區ノ總數ハ三千八百七十八ニシテ前年ニ比シ百五十五即チ三分八厘ヲ減少セルモ同年中ニ於ケル出願ノ處理ニ基キ新ニ鑛區ノ設定セラレタルモノ二千二百二十五之ヲ前年ノ二千四百四十二比スレハ九分ヲ増加セリ又採掘鑛區ハ五千五百五十五ニシテ前年ニ比シ二ヲ増加ス又砂鑛區ハ砂金ニ付テハ四十三年末ニ於テハ六百四十五ニシテ前年ニ比シ七ヲ増加シ砂鐵ニ付テハ八百六十八ニシテ前年ニ比シ五ノ減少ヲ示セルノミニシテ大體ニ於テハ著シキ變動ヲ見ス

鑛產額ハ未タ精確ナル材料ヲ得ルニ至ラサルモ重要鑛山其他ノ報告ニ據リ之ヲ推定スルニ其總價額一億四百三十六萬六千餘圓ニ達シ前年ニ比シ一分ノ増加ヲ示セリ今主要鑛產物ノ產出狀況ヲ見ルニ石油ヲ除クノ外金(九分)、銀(一割二分強)、銅(九分強)、鐵(一割二分強)、石炭(三分強)何レモ増加ノ好況ヲ呈



セリ之レヲ十年前タル明治三十四年ノ產額ニ比スレハ其多キハ倍額以上少キモ六割ヲ下ラサル増額ヲ示セリ而シテ四十二年中ニ於ケル本邦金銀銅及石炭ノ產額ヲ以テ世界各國ノ產額ニ對比スレハ銅ニ付テハ第四位、石炭ニ付テハ第八位、銀ニ付テハ第九位、金ニ付テハ第十一位ヲ占メリ

鑛產物ノ總貿易額ハ一億一千百八十一萬四千四百四十九圓ニシテ前年ニ比シ千四百七十餘萬圓ヲ増加セリ而シテ輸出入ニ關シ特ニ注意スルニ足ルヘキ事項ヲ掲記スレハ輸出ニ在テハ鐵管及電線（三十六萬餘圓）ノ關東州、朝鮮、清國及比律賓諸島ニ向ケ初メテ輸出セラル、アリ其他幾分輸出ノ増加ヲ見タルモノアリシモ主要輸出品タル銅及石炭ノ輸出額減少ノ結果輸出總額ニ於テハ前年ニ比シ三十七萬四千餘圓ヲ減シ又輸入ニ在リテハ鐵及鋼、石油等主要輸入品ノ輸入額著シク増加セシカ爲メ其總額ニ於テ千五百十餘萬圓ヲ増加セリ

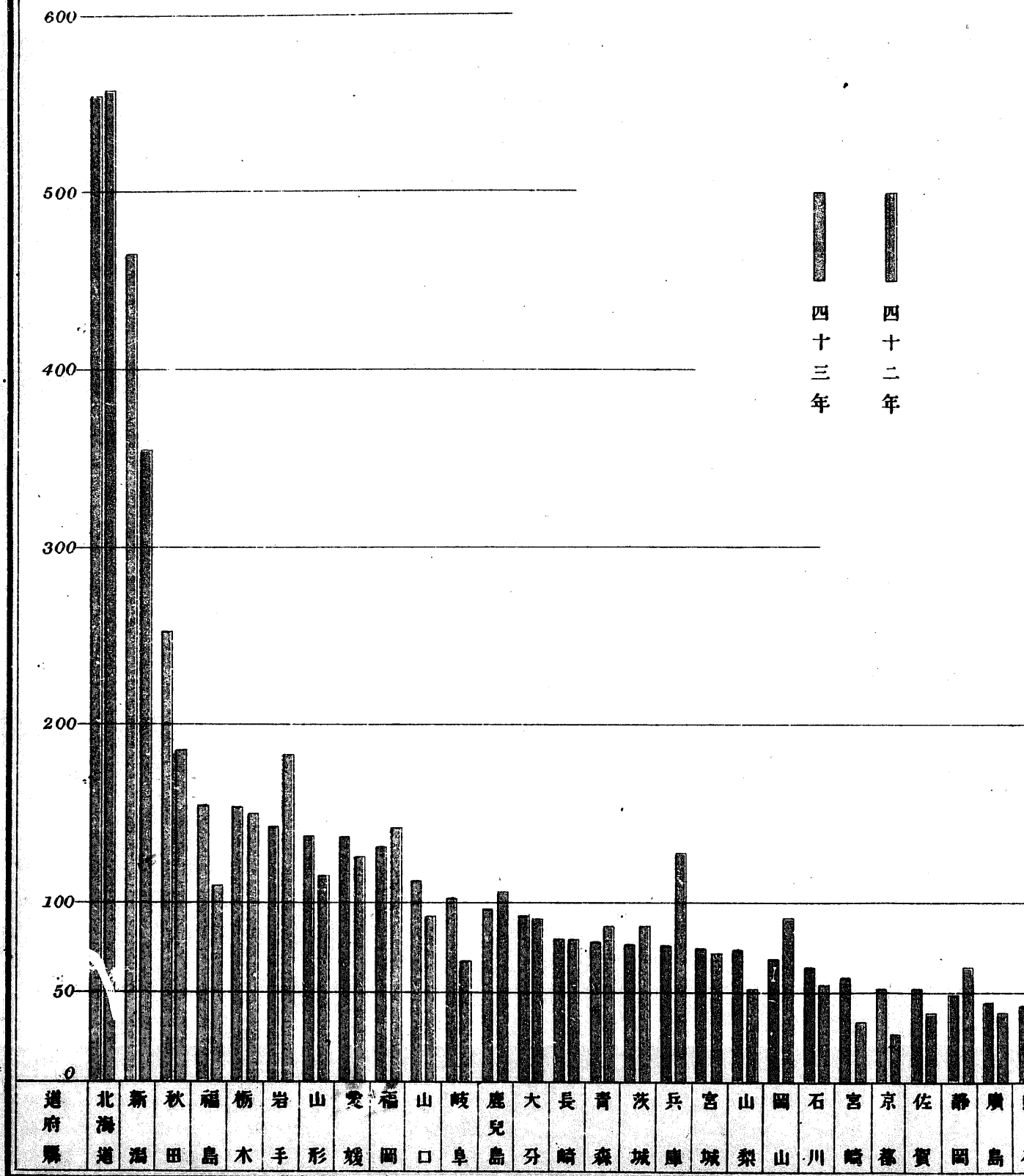
會社組織ニ依リ放下セラレタル鑛業資本額ハ會社ノ新設ニ因ルモノ七百二十九萬餘圓（拂込額五百三十四萬餘圓）既設會社ノ増資ニ依ルモノ百五十六萬餘圓（拂込額五十七萬餘圓）總計八百八十六萬餘圓ナリ而シテ同年中解散若クハ減資ニ依リ減少セルモノ五百四十二萬餘圓ニシテ差引前年ニ比シ三百四十四萬ノ増加トナリ即チ四十三年末ニ於テ現存セル資本額ハ一億八千五百二十九萬餘圓（拂込額一億四千三百十八萬餘圓）ノ巨額ニ達セリ若シ夫レ個人ノ經營ニ係ル鑛業ノ投資額ニ至ツテハ之ヲ詳ニスルニ由ナキモ鑛區數ノ増加ニ徴スルモ漸次増加ノ傾向ヲ有セルハ蓋シ推知スルニ難カラサルナリ

鑛產物ノ市況ニ關シテハ後章ニ詳記セルカ如ク銀ハ平均市價ニ於テ約三分方騰貴シ前年ニ比シ比

較的好調ヲ呈シ銅ハ世界ニ於ケル生産過剩ニ因リ約五分方ヲ低落セルモ製銅ノ輸出極メテ順當ニ行ハレタルカ爲メ實際ノ成績ニ至ツテハ前年ニ讓ラス鐵ハ初春稍々好調ヲ呈セシカ四月頃ヨリ英米市場ノ在荷過剩ノ結果漸次軟弱ニ傾キ爾來需要季節タル秋季ニ及フモ市價ノ昂騰ヲ見ルニ至ラサリシ石炭ハ内地ニ於ケル需用稍々見ルヘキモノアリシモ一ハ外國炭ノ壓迫ヲ受ケ他ハ内地各地方炭ノ競争ニ因リ市價ノ伸張ヲ妨ケタリ又石油ハ年初早々内外油ノ販賣協約成立シ市況至ツテ靜穩ナリシモ十月以降一個月ニ亘リ俄然外油ニ大競争ヲ惹起シ爲メニ斯業ニ尠カラサル影響ヲ受ケシモ全年ヲ通スル平均相場ニ至ツテハ前年ニ比シ僅カニ二分方ノ下落ヲ見ルニ過キサリキ

鑛山變災ハ其回数一萬五千二百十二回ニシテ前年ニ比シ四百九回ヲ増シ其死傷者ハ即死者二百六十八名ヲ減シ負傷者二百六十四名ヲ増加セリ此等罹災者ニ對シ鑛夫扶助規則ノ定ムル所ニ依リ鑛業權者ニ於テ治療費、療養日當葬祭料等トシテ給與シタル金額ハ五十一萬九千餘圓ニ達セリ

出願件數地方別



出願件數累年比較

